

森林セラピー事業を中心に
札幌国際大学と協定を結ぶ



11月12日、札幌国際大学において、「森林セラピー事業を中心とした地域観光振興の協働に関する津別町と札幌国際大学との協定書」が、佐藤多一町長と村山紀昭学長との間で交わされました。

この協定は、同大学からの要請にもとづき、津別町が進めている「自然を生かした『癒しの空間』によるまちづくりプロジェクト」をはじめとした観光人材育成、観光PR、森林セラピー事業を推進するにあたり、相互に協力することを確認する協定（期間3年間）で、今後は、森林セラピー基地の認証を目指します。

家庭で介護をしている方、
介護に関心のある方が参加しました



11月5日、6日の両日、津別町林業研修会館で「家庭介護教室」（津別町地域包括支援センター主催）が開催されました。第1日目は、津別町特別養護老人ホームいちいの園の土井ゆかり栄養士を講師に、食事をバランス良く食べる必要性、高齢者向けの味付けや調理の工夫、「とろみ」をつける方法を実践しました。

第2日目は、北見市の歯科衛生士、柳原光代さんを講師に、老化を遅らせるための介護方法、口腔ケアなどについて学び、自分の美容、健康にも参考となる話がたくさんありました。

townics

まちのわだい

災害時の救援体制を確かめる
高台町自治会で防災訓練



火訓練では消防員による消火器の取扱方法の説明を受けた後、一人ずつ実践を行いました。最後は炊き上がったご飯でカレーライスを食べ、訓練を終了しました。

11月6日、高台町自治会（星屋好春会長）で、災害訓練が行われ、町の職員や消防関係者ら40人が高栄団地集会所に参集。同自治会は平成19年に自主防災組織を設立。当日は、地震を想定した避難訓練、炊事訓練、消火訓練が行われた。避難訓練では、事前に周知したこともあり、避難の呼びかけの前に集会所に集まる事態もあつたものの、高齢者を中心とした参加がありました。炊事訓練では、つべつ赤十字奉仕団から包装袋で米を炊く方法で非常食作りに挑戦。消

11月4日、林業研修会館、集
会室で、新分野進出・経営多角
化支援セミナー（美幌・津別地
域季節労働者通年雇用促進支援
協議会主催）が開催されました。

協議会副会長、佐藤多一町長の挨拶後、(株)興和総合研究所代表取締役大和田善男さんを講師に事業主が新分野の進出、経営多角化を進めるための各種支援制度等の説明と、新分野進出への方向づけ、進出事例を紹介する講演が行われました。参加者は、新分野への進出、参入、成功のポイントについて学びました。

まちの発展、振興に寄与
功労者・善行者表彰式



11月3日文化の日に、津別町中央公民館で、町の発展や振興に尽くされた方の功労者、善行者表彰式が行われました。

今年、自治、消防、善行で功績のあった7氏が受賞しました。（受賞者は、広報つべつ11月号で紹介しています。）

功労者、善行者には、佐藤多一町長から一人ずつ表彰状と記念品が授与されました。受賞者を代表して、自治功労者の小田島利英さんが「これからも精励努力し、一層地域社会に貢献し、豊かな津別町のまちづくりに尽くしていきたい」と謝辞を述べました。受賞者の皆さんおめでとうございます。

木育ランドinつべつ
木のおもちやが大集合！



10月24日、25日、27日の3日間、北海道の主催による「木育ランドinつべつ」が道立津別21世紀の森・森林学習展示館で開催されました。「木育（もくいく）」は、北海道が平成16年度から使っている新しい言葉で、子供をはじめとするすべての人が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組みです。いつも森林学習展示館にあるおもちゃに加えて、「オホソク木のプラザ（北見市）」や「ちやちやワールド（遠軽町）」、「果夢林の館（北見市）」からいろいろな木のおもちやが集まりました。

日頃の練習の成果を発表
町民文化祭が開催



今年も11月の1ヶ月間にわたり、趣味や文化活動に取り組み町民の人たちが、日頃の練習成果を披露する「町民文化祭」が中央公民館で開催されました。11月6日の絵画展から始まり、15日には舞台発表が行われ、この日にむけて練習してきた踊りや歌、太鼓などが披露されました。それぞれの演技や演奏に、会場からは大きな拍手が送られていました。また、20日からの2日間は総合展示、22日には昨年引き続きアマチュア無線交信が行われ多くの来場者を楽しませていました。

ホテル フォレスター
営業を中止し休館中です

上里の森の中にたたずむ「森の健康館 ホテル フォレスター」が、指定管理者の撤退で、11月1日より営業ができなくなったことから、日帰り入浴を含む、すべての営業を中止し休館しています。ご利用をいただいていたお客様には、ご不便をおかけしていますが、森の中でゆっくりとくつろいでもらうことを目指した施設は、町内唯一の温泉保養施設であり、町の観光拠点ですので、新たな運営先の確保を進め、営業再開に向けて努力しています。ご理解をお願い致します。

